



— 災害が発生しても —

安心して住み続けられる下池田町へ！

大規模な災害が起こると、その地域社会に目が向けられ、核となる「町会や自治会」の存在や役割が、クローズアップされます。

1995年の阪神淡路大震災では、崩壊した建物などから救出された人の77.4%が、家族や近隣の住民によるものだったと推計されています。

災害時には、町民の安否確認も行われます。各世帯にどんな人が何人住んでいるかという情報が必要になってきます。災害時に町会「組織」は機能しないと軽視する人もいますが、町会は上から下への命令で動く、硬い組織ではありません。

むしろ、町民の日常的なふれあいから、自発的、自主的な活動に支えられ、運営されている柔軟な組織です。班という小さな範囲の交流から、各世帯の情報を備えとっさの行動も呼び起こすのです。

消防や警察、行政のサービスだけでは対応できず、町会と、それをもとに組織されている自主防災会が動くしかないので。

そのためには、平時での日頃からの準備・啓発・訓練が大事です。

したがって、地域が一丸となって支えあう町会という組織が必要なのです。

町民の皆さんの知恵や町会行事への参加が下池田町の希望につながるのです。

下池田町町会は、町民相互及び町内外の諸団体との協力・協調のもとに、町民の教養を高め、福祉を増進し、地域生活環境の整備や防災などに努め、行政との協議・協力を進めつつ住民のためのまちづくりを行っております。

今後とも町会へのご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

☆ 今月の町会活動 ☆

- ・ 公民館跡地において埋立ごみの回収を町会役員と廃棄物減量等推進員で行いました。
- ・ 岸和田市防災福祉コミュニティ協議会主催の防災講演会「避難所運営について学ぼう」を受講し、避難所は安全で健康に過ごせ、復興に向けて立ち上がるための力を蓄える場所であることを学びました。
- 
 下池田町の最寄りの指定避難場所は八木北小学校です。
- ・ 岸和田市より久米田駅西側改札工事の進捗状況及び下池田町1丁目の道路整備工事について報告を受けました。
- 世代間交流事業
 ・ みづくり学級主催の「パラリンピック競技ボッチャ体験」に町会役員が参加しました。
- ・ 岸和田市庁舎整備基本計画案の市民説明会が八木市民センターにおいて開催されました。

※ 町会への入会や何かご相談があれば 毎月第2日曜日午前中に 下池田町町会館にお越しください。

町会役員が詰めておりますので気軽にお声がけください。

